

京橋の印刷

3月25日1992・No.82

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
田島 弘



佃島・住吉神社

世代交替の時機

支部長 田島 弘

この三月期をもって、京橋支部長の任を全うする事になりました。通常総会までの日数が待遠しい此頃です。二年前に京橋支部長の役をお仰せつかつて以来、早や二年が過ぎてしまい、何かあつけない感じでした。この間、京橋支部員の皆様には、事業遂行にご協力、ご支援を賜わりまして心より感謝申し上げます。

さて次期執行部も、神林新支部長以下副支部長や地区長に若手が多く登場して、京青会0・Bが地区長に5人、副支部長に3人と8人も数えられて、近年は支部役員の世代交替が目立ちます。これからは京橋支部も他支部のように、二世を中心とした若手経営者に、大いに活躍して載き、京橋支部の伝統である事業継承者の育成を計って欲しいと思う次第です。

そして印刷組合の役員にも率先して参加し、各種研修会への参加や、地区活動を通じて、情報交換を通じて、お互いに切磋琢磨してゆきたいものです。最近、多くの事業所でも経営者の世代交替の話が聞かれます。この忙がしい時代には柔軟な思考力と行動力が必要です。組合事業を通じて大いに視野を拡げて、各社のメリットを擲んで欲しいものです。

新年臨時總會開催 於・中央会館

1月24日(金)午後18時から恒例の京橋支部新年臨時總會が、中央会館7階にて開催されました。

定刻6時には出席予定者60名の支部員の殆どの方が参集し、司会の近藤副支部長が「皆さん明けましておめでとうございます。平成4年、新年臨時總會を開会します。まず本目お見えの来賓の方をご紹介します。東印工組副理事長田嶋一弥様、中央区商工課長河野聡様、京橋製本協同組合常務理事、長山浩様です。(拍手)

さて今年の各新年会ではバブル経済のことや景気の落ち込み等の話でもちきりですが、いずれにしても、新年に入ってから日本の政治、経済、社会は不思議な現象を呈しています。例えば為替レートも円高に廻り方向も定まりません。政治も、共和問題等がからみ不透明であつたり、国際政治問題もつきりしないまま過ぎて行つて、何とも思わないのは国民性なのか、不思議な国というか、掴みよのない国といえます。10年程前ですが為替レートが100円を切るのではないかという勢いで円高が進行した時、アメリカの評論家がそうはならないという見方をしました。その理由は日本には柔道という競技で、床を三つ叩けば降参というルールが

ある、だから日本は途中で床を叩くので大きく円高とはならないだろう。という話を聞いた事があります。日本は不思議な国だと思つたことがあります。不思議といえば、13世紀にマルコポーロが東方見聞録を出版しましたが、その中でも日本は不思議な国だと記してあります。

さてこの不思議な国だと内外共に思われている景気の悪い日本が今後、どのように進むのか判りませんが、我々印刷業界にとつて果してどう対応したら良いのか、又どう取組んだら良いのか、極めて重要な問題と言わざるを得ません。こうした重要な時期での臨時總會という訳です。今日の總會は報告事項のみで議題はありませんので議長は選出しません。」と前置きの上、開会の挨拶が佐藤副支部長によつて述べられ続いて、田嶋支部長が年賀の詞を述べて、「私共、執行部も任期はあといくばくもないが、前執行部から受け継いで、次期役員選任等については各地区の皆さんの協力で、大方の候補者の方々が決つた。又現在、京橋支部の地域に於て、製本の方々と地場産業システムとして、サテライト計画を立案し、それがようやく緒についたばかりである。これは皆さんの協力なくては



仲々実行の出来ない問題だと思う。いろいろ問題は山積しているが、印刷人として一致協力して、これらの難問題と懸命に取組んでいくしかないと考えていますので、今後共、よろしく御協力をお願いします。」と挨拶した。続いて議事に入り、次期役員選考委員会委員長石澤顧問

が「支部執行部と顧問・相談役9名から成る選考委員会で、次期役員候補について協議した結果、支部執行部の意見を尊重し、副支部長を2期務めた新富地区、神林印刷(株)神林克明氏を次期候補者として推薦する。副支部長、監査については各地区と協議して候補者を決めて貰いたい。若く活力ある執行部が誕生するものと期待している。」と経過報告を行った。次に来賓挨拶に移り、東印工組副理事長田嶋一弥氏が、



「東印工組の最大支部である京橋支部の要である次期支部長が内定した事は喜ばしい事です。東印工組は東京の印刷業で唯一の公益法人であり権威とそれに伴う条件を具備している。京橋支部がリーダーシップを発揮して、東印工組の発展にご尽力願いたい。第三次構造改善事業は本年度終了するので、いま本部では二十年計画立案に着手している。これは当支部の長島前常務理事が尽力された東京の印刷産業ビジョンを踏まえたものになる予定で、平成5年度から実施してゆきたい。」と述べられた。このあと中山副支部長の閉会の挨拶で締めくくられて新

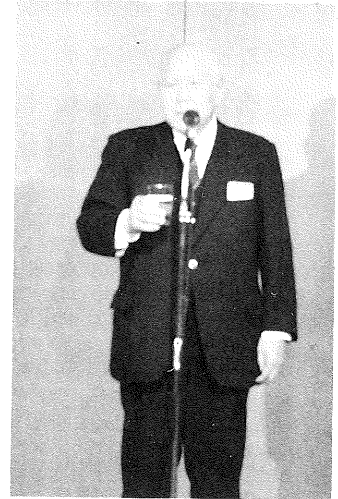
年臨時総会は終了しました。第二部の新年宴会は隣の部屋に会場を移して関連業者56名も参加して総勢125名の参加で賑やかに開かれました。6時30分より小倉・石井両副支部長の進行により始まり、まず田嶋支部長が挨拶して、「新年の賀詞を述べた後、関連業界の皆様には毎度お世話になっており感謝しています。京橋支部の新役員も大体内定し、次期支部長には神林印刷(株)の神林克明氏に決めました。又来期もよろしくご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。

続いて関連業界の協賛会社名が進行役の小倉副支部長によって読みあげられた後、関連業界を代表して(株)桜井グラフィックシステムズ、社長桜井美国氏が祝辞を述べて「本年も印刷産業の活力と底力に期待している。」と述べた後、乾杯の音頭は京橋支部顧問の発声により新年宴会の幕開けとなりました。歓談の続く中で、祝電の披露も行われて、皆それぞれに料理を楽しましました。宴半ばで、他所の会から駆け付けた





小薬工団連副会長が挨拶に立って、「中央区地場産業サテライト計画については、今年はおつと具体的に計画を立ててゆきたい。工団連は京橋が中心であるので是非協力をお願いしたい。現在は区の行政側に強力な要請をしており、徐々に計画も煮詰まってきました。又中央区工団連の事務局を今年をメドに設けてゆきたい。工団連の事業について理解を深めるために、各役員を通じて内容をお聞き戴いて、各社のメリットを掴んで欲しい。」と述べました。同じ



く他の新年会より駆け付けられた矢田中央区長も挨拶で、賀詞を述べて、「東印工組京橋支部の新年臨時総会にお招きを戴き、誠に有難うございます。皆様方のお元気なお姿に接しまして、大変心強くうれしく思います。平素は大変心強い、暖かいご支援を戴きまして、お蔭様で中央区政も順調に、運ばれまして、町造りを始めとした政策全般に亘りまして飛躍的に発展を遂げる事が出来ました。今年も皆様方と力を合せて、素晴らしい区を造っていききたいと思えます。特に地場産業である印刷製本業には、一段と力を入れてゆきたいと思えます。昨年は商工業基本計画を策定した訳ですが、これに従って着実に進めてゆきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。」と述べられました。祝宴は尚も続き、20時前になってようやく久保田顧問の音頭によって、中締めが、おめでたい正月につき、万歳三唱で締めくくられました。125名もの参加者でしたので、賑やかな新年会となりました。

(文責 岩本)



次期各地区役員名 (敬称略)
内定

	地 区 長	副 支 部 長
京 橋	尾 島 賢一郎 (三 徳 印 刷)	坂 田 利 正 (秀英堂紙工印刷)
銀 座	永 島 洋 二 (冬 水 印 刷)	松 本 正 孝 (橋 本 印 刷)
新 富	木 島 照 夫 (ダイ・コー印刷)	宮 入 茂三郎 (オカムラ印刷)
築 地	神 田 範 世 (永 和 堂)	—
入 船	尾 賀 正 昭 (尾 賀 印 刷)	水 野 雅 生 (ミズノプリテック)
湊	篠 倉 正 信 (デ イ グ)	松 川 昭 義 (松 川 印 刷)
八丁堀	榎 本 義 則 (榎本印刷所)	十文字 康 雄 (三雄舎印刷)
新 川	宇 野 一 男 (宇 野 印 刷)	金 山 耕 二 (金 山 印 刷)
月 島	石 井 精一郎 (安信印刷工業)	荒 川 龍 治 (誠 文 社 印 刷)

次期役員選考委員会(石澤委員長以下8名)は昨年10月から、協議を重ね、依頼の結果、次期支部長には神林印刷(株)、神林克明氏が推薦されました。更に2月には、本部役員に高千穂印刷(株)、小山英美氏が選出されて、本部常任理事(事務用委員会担当)に決まりました。又、支部選出の理事には、神林克明氏、水野雅生氏、十文字康雄氏、荒川龍治氏、金山耕二氏、久保

田幸一郎氏、小葉忠昭氏、田島弘氏の8名が選出され、本部棟理事の小山英美氏、田島一弥氏、小宮山敬之氏と合せて、11名となりました。支部総代には、神林支部長以下12名の副支部長、監査、地区長の方々にお願ひする事になりました。尚、各地区の役員も全部内定して、本部では4月から、支部でも5月の通常総会後から新役員で発足する事になります。

次期支部長に神林克明氏内定

次期役員選考委員会2/5



顧問・相談役・参与の会開催

3月6日(金)、17時30分より、八丁堀あわやにて、顧問・相談役・参与の会を開催して、支部活動状況について諮問、報告が田島支部長により、「日本橋支部との合併話については先方になまだ気運が熟しておらず、今回も見送る事になった旨を説明、次期役員選考委員会は昨年10月以回10回程会合を開いて、次期支部長には神林克明氏(神林印刷)、本部常務理事には新たに、小山英美氏(高千穂印刷)が推薦されました。又、支部推薦の理事8名も推薦された事が報告されました。その他、支部総会が5月12日(火)に18時より中央会館7階にて開催する事が決定、秋には中央区産業文化展が10月22日から一週間日本橋プラザで挙行される他、5年2月には中央区商団連40周年・工団連30周年の記念行事が種々予定されています。又6月14日(日)、15日(月)には中央区工団連宿泊研修旅行が新潟県大湯温泉と決まり、皆様の参加をお待ちします。」と報告されました。続いて工団連印刷・製本分科会のメンバーを中心に推進している地場産業システムタワービルの企画の推進状況が小葉相談役から説明があり、中央区への根回しをして、調査費の予算化を実現してゆきたいと抱負が述べられました。又中央区工団連事務局の独立を区の補助のもとに、今夏にも実現させるべく、区助役と相談中である事も報告されました。そして石沢顧問が支部長の労を感謝して、「こう

いう会合でもないと言った皆が顔を合せる機会がないので、皆喜んでいきます。2年間ご苦労様でした」と述べて、乾杯をして、懇親の輪を揚げました。又、中締めでは、田島副理事長が、「4期8年に亘って、本部役員を務める事が出来ましたのも皆様のご支援のお蔭です。有難うございました。」と挨拶されました。半年ぶりの会で皆さん歓談に花が咲き、8時過ぎお開きとなりました。



魚の話

日刊食料新聞 2/14日付

▼「魚が売れなくなった」と、近所の魚屋さんがボヤク。「やはり景気のせいでしょうか」と、もう一度タメ息▼ナルホド、魚の売れ鈍りは数字的にもくつきりである。東京都地域消費者団体連の世帯調査によれば、昨年(一一十二月)の一世帯当たりの魚への消費支出は十四万五千二百八十七円(前年比〇・八%減)。また、昨年十二月一カ月の支出も前年同月比〇・六%減の二万二千六百四十円に止どまっている▼昨年はバブルが砕け散った年である。魚どころではない向きだったいたかも知れない。それにしても、かつては書き入れどきだった年末までが前年同月比〇・六%のダウンとは。見離されがちのコメのメシとの、さみしくも哀しい。道行き“としかいいようがない▼西洋に「魚は三度泳ぐ」という諺がある。一度は海、二度目は油鍋、三度目は酒杯の中がこれ。魚料理にはワインがつきものである。三度目の酒杯は、この西洋の食習慣からのもの▼昨今のわが国の場合はどうか。一番目の「海で泳ぐ」は否定しない。が、二番目の「油鍋」はどんなものやら。マナイタも包丁もない台所では、テンプラなどの面倒臭いものなんか敬遠がオチだからだ▼三番目の「酒杯の中」にも劣勢は否めない。「ワインには魚」とした西洋の画一的食習慣にくらべ、わが国の場合は肉でよし乳製品(チーズ等)でよしその他でよしと、「魚」ではなく「肴」が実態だからだ▼「四度目は不景気の荒波の中」なんて具合にはしたくないものだが!。

(妙竹輪)

中央区商工業各種表彰式

於中央会館

2月27日(木)、午後3時より中央会館7階にて中央区・中央区工団連・区商連共催の商工業各種表彰式が行われました。工業関係では、まず工業事業主では新富地区、信誠印刷(株)小林晃氏が就任年数30年以上で、39.5年になり、表彰を受けられました。又工業優良従業員表彰では、高千穂印刷(株)6名、聖文社印刷(株)2名、(株)榎本印刷所2名、(株)久栄社4名、信誠印刷(株)5名の計19名の方が10年以上、20年以上、30年以上の各優良勤続者として表彰されました。そして矢田区長、区商連会長、工団連会長代理のそれぞれ挨拶が行われた後、中央区議会議長、東京中央支部会長等の祝辞があった後、受賞者代表の謝辞があり閉会となりました。そのあと工団連関係の全員で記念写真を撮影、別室にては祝賀会が設けられて、出席者一同乾杯をして、それぞれこれまでの苦勞を忘れて、歓談や、ご馳走を楽しみました。中締めのもと、賞状、記念品、赤飯等のおみやげを手に帰路につきました。尚、京橋支部からは、田島支部長、近藤副支部長が出席して、優良工業従業員が表彰される度に拍手で迎えました。工団連の表彰は毎年行われていますが、無料ですので奮って申請をお出し下さい。



京青会2月行事

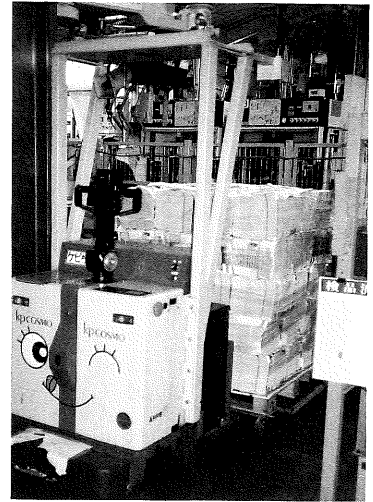
工場見学・旅行会

2月15日(土)、京青会では中央区商工課よりのバス交通費の補助を受けて、日本印刷会館前に午前8時集合して、総勢15名で、小宮山印刷(株)のオフ輪工場でもある、(株)ケーピーコスモ深谷工場の見学会を実施しました。

現在最も注目されている最新鋭水ナシオフセット輪転機を駆使し、又周辺機器にも、ロボットの多用化をして省力化、最少限の人員で工場を稼働させている事が特徴で、最新の技術を取り入れたものでした。印刷業界にあり勝ちの熟練性や労務管理等にも、格段の進歩を取り入れたもので、4年に竣工し稼働しているものです。社長の須賀正太郎氏、桜井工場長の説明ではその最新設備の優秀さを拝聴し、今後の印刷業界のあるべき道を再認識すると共に、各々問題提起をして、有意義な見学会となりました。工場見学を午前中で終えた後、一行はバスにて群馬県富岡近くの磯部温泉にて、新年会を兼ねて、のんびりと日頃のストレスを解消すべく、直行しました。新年会に先立ち次期会長候補の見通しが立たず3月に内定が先送りとなった。

京青会新入会員紹介

- ・ 中島太樹殿 (中信社中島印刷) 入船地区
- ・ 田島久義殿 (久栄社) 入船地区
- ・ 谷島 豊殿 (谷島) 新川地区



地区だより

新富地区

鬼怒川温泉で新年会

二月七日(金)～八日(土)、新富地区会の新年会を開催しました。

現在、当新富地区の会員は十六社ですが、今回は残念ながら二社が欠席、参加者は十四名で東武浅草駅十四時三十分発の特急スベシアに乗車、一路鬼怒川温泉へ向いました。

東武鉄道がいま売り出し中のスベシアは、車内の雰囲気も良く、座席も快適で、車内販売サービスもあり、和気あいあいと談笑しているうちに早くも十六時二十九分鬼怒川温泉駅に到着、すぐに旅館街順廻バスに乗り込み三、四分でグランドホテルに着きました。

今回は研修会を行わず、鋭気を養い、会員相互の親睦を深めることを主眼におきました。グランドホテルは施設も良く、特に別館は真新しく清潔で、宴会はカラオケなどで盛り上りお互い充分楽しめました。

翌八日は十時十三分発のスベシアで、また二時間弱の親睦を深め、十二時十二分無事浅草に帰って来て笑顔で解散、天気も良く快適な新年会でした。



新富地区は平成三年度、四月定時総会、八月納涼会、九月研修会(バスにて会員会社社員を対象とした東海村原子力研究所見学)、十一月忘年会そして今回の新年会で恙なく今年度の行事を終了し、新地区長、幹事(二名)で来年度へ向けスタートします。

尚、新富地区の神林印刷(株)の神林さんが、次期支部長候補者に内定されて、大東印刷工業(株)の花崎実氏が支部長をされて以来の事で、地区の方々のお慶びはひとしおでした。皆のあと押しで盛り立てて行こうと、皆張り切っています。

(木島記)

築地地区

互友会定例会

鬼怒川御苑で開催

互友会2月の定例会は初めて都外で開催したがまずまずであった。今竹地区長や幹事の肝入りでたまには東京を離れて例会を開こうではないかという提案から冬の鬼怒川温泉での定例会となった次第である。

22日の土曜日午後2時30分浅草発の特急スベシアに乗る。地区長、幹事の努力にもかかわらず座席は全員一緒という訳にはゆかず二手に別れて車上の人となる。冬の鬼怒川とは考えものだなあと思いながら風景に目をやると、終点に近づくにつれて山は雪化粧となる。ところで、例会を鬼怒川にした理由はと聞いて見ると箱根に比べてずっと安いからだとかすぐ納得する。但しコンパニオン代は別とのこと。

例会の議題は①地区役員選出について、②京橋支部の活動状況報告、③その他であるがこれといった問題はないようだ。ホテルは鬼怒川御苑であった。小学校、中学校の同窓会が先着で二、三組あり初老の姿を見て我が身を振り返る、男女共学になってからの同窓会、クラス会なのでぎやかだ。我々旧制育ちにはピンと来ない。解放感が違うのかも知れないと思いつら部屋に落ち着く。八年前に建ったホテルだそうであるがまずまずというべきだろう。

参加者は布施さんが急に行けなくなり十四人。



陽気な布施さんの姿がないのは一寸残念であった。部屋に着くと幹事の部屋に集まり例会を開く。今竹地区長より早速報告あり。次期地区長

は、永和堂の神田範世氏。親子二代にわたる地区長という訳である。時代が変わって行く姿が見えるようだ。また京橋支部の神林支部長以下次期の各地区の副支部長、地区長候補が報告されて議事は終る。続いて短い時間だったが大谷氏からいま各企業で問題になっている「時短」についてレクチャーを受ける。聞いていると我々中小零細を全く無視した法律が出来ようとしていることであるが背景は外圧によるものはわかるにしても内容を聞いているうちに我々零細企業としてどう対応したら良いのかという問題にぶつかる。国際的な立場から労働環境の変化として捉えることはできても、年一八〇〇時間労働を具体化するには、現行の残業を減らし、年次有給休暇の日数増や長期有給休暇の新設などを法制化するという建前論だけでは「あつそうですか」という訳には行かない。従業員が何万人もいるような大企業ならばいざ知らず零細企業泣かせの法律はとんでもないということになる。確かに国際環境から見れば当然かも知れないが、例えば大企業であっても「時短は生産性向上の努力が前提」であることには違いないことである。そんなことを考えながら温泉につかる。フト頭に浮かんだ。「時短、時短と騒ぐな時短それをやるのは我々だ」。くだらんことを考えながら宴会場へ。

これが最後の仕事となる今竹地区長や各幹事の心配りで始まる。これも最後の仕事となる不肖私の挨拶のあと、互友会は大変手回しが良く次次年度の地区長候補春原氏の音頭で乾盃。コ

ンパニオン四人三つ指？ついて挨拶。さあ今宵は飲むぞと皆ハリキッテ？座が開く。温泉場の例会だからリラックスして気分が良い。ダジャレが飛び、コンパニオンと会員の笑いが混り合っとなかなか良い雰囲気である。最近月謝を相当払ったと思われる春原氏がトップを切ってマイクを持った。次々とカラオケが飛び出し酔う程に飲む程に時間が過ぎ、小森氏の大メでお開きとなる。何人かが二次会へ消える。鬼怒川添いに建ったホテルなので向い側のホテルのネオンが明るい。疲れもあつて早や目に床の中へ。翌朝はホテルの玄関前で記念写真。ご老体の三ツ森氏だけは山歩きのため単独行動。好きなカメラを肩に薄い雪化粧の山に向い、我々と分かれる。スリムな体で山に、ゴルフに、カメラと人生を楽しんでいる姿がうらやましかった。時間どおり浅草に着きここで解散。(近藤記)

支部の動き

12月4日(水)次期役員選考委員会、於・支部室、(12時～14時)

12月6日(金)部長・監査・地区長会、於・銀座キャピタルホテル(17時30分～19時)

1、本部事業推進について協議事項

- ・平成4年度第1四半期の賦課金4月請求
- ・平成4・5年度理事候補者支部枠配分について、京橋支部枠、8名、本部枠別。
- ・支部長必携マニュアルの作成について

・「新春の集い」準備経過について
2、報告事項

- ・「環境標語」の作成・配布(12月中)
- ・時短推進員研修会推進状況、11/28迄1,189名、44.7%終了。

3、当面する支部事業について

- ・新年臨時総会、1/24(金)、中央会館18時議題、次期役員選考経過報告について
- ・次期各地区役員推薦を1月中旬に内定。
- ・その他委員会報告等。

12月9日(月)中央区工団連印刷製本分科会(18時～20時)、於・入船鳥福、会費1万円。

12月11日(火)中央区工団連産業文化展実行委員会(10時30分～12時)、於・中央区役所、田島支部長他出席。

12月13日(金)次期役員選考委員会(15時～16時30分)、於・支部室、田島支部長他出席

12月16日(月)次期役員選考委員会(13時30分～15時)、於・支部室、田島支部長他委員出席

12月18日(水)次期役員選考委員会(14時～16時)、於・支部室、田島支部長他委員出席

12月25日(水)次期役員選考委員会(12時～13時)、於・支部室、次期支部長に神林克明氏内定。

12月28日(土)事務局仕事納め
1月6日(月)事務局仕事初め

1月8日(水)桜井機械販売(株)新年会、(18時～19時)、於・東急プリンス、田島支部長出席

1月9日(木)本部支部長会、(15時～17時)、於・印刷会館、田島支部長出席

1月13日(月)常任理事候補者推薦委員会、(16時

～17時)於・椿山荘、田島支部長出席、”新春の集い”(17時30分～19時30分)、京橋支部より、50名参加。会費1万3千円

1月14日(金)中央区工団連新年会、(18時～19時30分)、於・中央会館、田島支部長他出席

1月17日(金)京橋製本協同組合新年会、(18時～20時)、於・築地東天紅、佐藤副支部長代理出席

1月23日(木)中央区工団連正副会長会、(10時～12時)、於・中央区役所田島支部長出席
1月24日(金)部長・監査・地区長会、(16時30分～17時)、於・中央会館

1、支部長会報告事項

- ・第1回推薦会議の開催、2/27、中野日本閣平成4・5年度役員候補者推薦手続
- ・各支部(地区)の委員選出報告、2/10
- ・各支部総代の代表1名は支部長が適当
- ・経営改善委員会の運営試案について、分科会方式

・都内印刷工場の立地制限について、2特に於ける工場の新、改、増築計画に床面積上の制限を受けたケースの調査

・2/19、経営計画立案実践研修会、京橋支部より5名出席の依頼

・2/26、人材確保・活用の戦略パネル討議。京橋支部より3名出席依頼

2、当面する支部事業について

・新年臨時総会、支部員60名、関連52名参加の予定、合計123名。

1月24日(金)新年臨時総会、(18時～20時)、於・

中央会館、会費 1 万円、125 名出席

総会次第 司会 近藤副支部長

開会のことば 佐藤副支部長

挨拶 田島支部長

議事

次期役員選考経過報告について

石沢委員長殿

来賓挨拶、東印工組副理事長、田島一弥殿

閉会のことば 中央区工団連副会長小藁忠昭殿

新年宴会次第、進行、小倉・石井副支部長

挨拶 田島副支部長

関連業代表挨拶、(株)桜井グラフィックシス

テムズ社長、桜井美国殿

乾杯 京橋支部顧問、石沢幸殿

歓談

中締 京橋支部顧問 久保田幸一郎殿

1月28日(火)中央厚生事業協組新年会、(18時

20時)、於・亀清楼、田島支部長出席

1月29日(水)次期役員選考委員会(14時

15時)

2月5日(水)次期役員選考委員会(15時

16時) 於・支部室

2月6日(木)本部支部総会、(15時

17時) 於・印刷会館、田島支部長出席

2月13日(木)部長・監査・地区長会、(11時

14時) 於・支部室

1、本部事業推進について協議事項

・企業実態調査アンケートについて

・平成 4 年度賦課金の賦課方法(案)につ

いて改定内容・製版設備の指数を全印工

連答申指数に変更、4/7、臨時総代会
に上程、

・総代、理事候補者の確認について

2/未迄に支部推薦理事候補者、3/15

迄に新総代の選出報告

・「東京の印刷」表紙写真の支部輪番、

4月から5月刊発行。

・新年度委員会運営機構(案)について、

2、支部提案事項

・城西支部、取引諸慣習の改善検討委員会

の設定について

・豊島支部・豊島区印刷展への補助の可否

支部旗新調の可否、共に予算がない、

・浅草支部・本部組合員の電算データベ

スの概略について

3、当面する支部事業について

・通常総会開催について、5/8(金)18時中

央会館を予定、事業報告書の作成

・次期役員(理事、総代)の推薦について

・その他、次回支部報3月発行予定。

2月19日(水)中央区産業文化展実行委員会、(10

時30分

12時) 於・中央区役所

2月25日(火)京橋電気安全協合理事会(11時30分

12時30分)、於・京橋消防署

2月26日(水)人材確保・活用の戦略、シンポジウ

ム、(14時30分

17時) 於・都庁第2ホール、田島支部長他出席

2月27日(木)中央区優良従業員表彰式、(15時

16時) 於・中央会館、田島支部長出席。
3月27日(木)本部推薦会議、(15時

中野日本閣

3月5日(木)本部支部長会、(15時

17時)、於・印刷会館、田島支部長出席

1、本部事業推進について協議事項

・平成 4・5 年度役員改選について

・「育児休業法」施行への対応について、

制度の概略と規定集、適用猶予企業 30 名

以下の所(平成 7 年 3 月 31 日迄猶予)

31 名以上の組合員数 20 社、奨励金制度

・地場産業等構造高度化事業について

構造高度化委員会(4 年度より設置)

4 月より都の業種指定予定、初年度 600 万

円、2/4 年次は各 2 千万円の補助金。

3月6日(金)中央区工団連を副会長会(10時30分

12時)、於・中央会館、田島支部長出席

3月6日(金)支部顧問・相談役・参与の会(17時

30分

20時)、於・あわや、会費 1 万円。

3月13日(金)中央区工団連工場見学会(9時

16時)、於・小松川テクノタウンの共同工場

地域及、品川水族館見学。

3月17日(火)本館理事会(15時

17時)、於・印刷健保会館、田島支部長他理事出席。

3月18日(水)中央区工団連印刷・製本分科会(18

時

19時30分) 於・支部会議室。

3月19日(木)部長・監査・地区長会(15時

18時)、於・箱根天成園、会費 2 万円。

1、当面する支部事業について

・通常総会の準備について、日程 5 月 12 日

(火)、18 時、中央会館 7 階、会費 8 千円、

事業報告書の作成、決算報告書の作成。

予算案の作成、監査会の予定 4 月。

3 月 24 日(火)東商小規模振興委員会中央地区連絡
会議(12 時～14 時)茅場町鉄鋼会館。

支部員の異動

・加入組員

新川地区、美研企画印刷(株)、関口清殿が加入
されました。(4 年 2 月)

入船地区、長崎印刷(株)、長崎茂殿が加入され
ました。(4 年 3 月)

・脱退組員

(株)ヤシロアート、八代美子殿が脱退(八丁堀
地区)

所在地変更

・(株)双葉印刷社は、築地 2-8-1、永谷マ
ンション 503 号へ移転しました。

・渡辺印刷(株)は工場が、江東区牡丹 1-6-7、
電話 3642-9711 へ移転しました。

・三秀(株)は、江東区新大橋 2-12-15、電話、
5600-0340 へ移転しました。(4 年 2 月)

・(株)長島印刷所は、新社屋が元の住所、銀座 1
-21-7 に完成しました。電話は元の 3563-2811、
ファクシミリは 3563-2824 に変わりました。

社名 変更

・(株)久栄社(旧名(株)久栄社印刷所、新川地区)

お悔み申し上げます

▼京橋地区、秀英堂紙工印刷(株)社長御母堂堀沢
キヨ殿が御逝去されました。

▼(株)荒井美術社長御母堂、荒井のぶえ殿が御逝
去されました。

校正ミスのお詫び

前号「永年勤続表彰式開催」の本文記事 2・3 頁
の中で、本部副理事長、田島一弥氏の名前が田島弘
氏となっていました。三ヶ所も見落しがあり、謹んで
お詫びを申し上げます。

編集後記

田島支部長を始め各役員任期が終了し、神
林新支部長を中心とする新執行部にバトンが渡
されることになった。五月の総会で正式就任に
なるが、退任にあたってこの二年間を振り返っ
て見ると、月日のたつのは実に早いということ
を実感したことであった。

在任中の仕事ぶり等についてあれこれ思い出
して見ると、仕事らしい仕事をしたのかなあと
ある面が恥ずかしさもある。しかし、冷静に分
析して見ると、年中行事上のものと、そうでな
いものとの二つに分けることができる。前者は
例えば工団連関係の「へそ展」とか、敬老表彰
とか従業員表彰とか前執行部の仕事をそのまま
引継いだものなどである。後者は田島執行部が

出会的要素によってのみやった仕事である。
例えば、第七十八号の巻頭言に書いたように
「組合創立百周年」行事に巡り合ったことであ
ろう。そしてこの百周年事業の一環として築地
本願寺で物故者慰霊祭に参加したことなどが印
象に残る。また、日本橋支部との合併問題は実
らなかつたことは大変残念であった。これは支
部の歴史の中で何度か経験したことだから目新
しいことではないが、今度は本物かと思われた
だけにじくじたるものがある。田島支部長は河
北日本橋支部長の意向を前向きに受けて顧問、
相談役、参与会の了承と応援を受け、手続き、
手順を踏み支部の姿勢を鮮明にした中で交渉
事だったが、結果は駄目であった。田島支部長
の心中を察すると言葉がない。支部長を補佐す
べき副支部長の私が、この件については二時間
にわたり大激論を闘かわしたことがある。私は
酒を呑まないが、口角泡を飛ばし、相互の考え
方の違いを浮きぼりにし、そしてなとお互いが
支部の将来のためという点では一致するものの、
尚開きがあつたのは何かということである。富
士山の頂上をきわめるのに、御殿場口か吉田口
かの正当性を論じているようなものであつたと
思う。在任中に事務接渉が始まつたということ
で、次期執行部の時に一行政区一支部の夢が実
現したらと二人でロマンを追いつつていたこと
だけは確かである。しかし、結論から云うと、
私の持論は一般論であり、支部長の考えは支部
の歴史を背景に「ドツシリ」と構えていてしか
も信念を持って微動だにしないのであつた。
今から思うと支部長にとっては「この若僧が何
を云うか」と一喝の気持であつたかも知れない。
が、私にとっては大変勉強になつた。この項を
借りて田島支部長にお礼を述べる次第である。

(近藤)